



Title	高知県埋蔵文化財センターにおけるPDFデータの公開 : DTPにおけるPDFデータの活用
Author(s)	廣田, 佳久
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/14190
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

高知県埋蔵文化財センターにおける PDFデータの公開

—DTPにおけるPDFデータの活用—



(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター
廣田 佳久

1. はじめに

(1) なぜ高知県から

(2) 本来の目的

報告書を始めとした印刷物のFull DTP化

(3) 副産物としてのPDFデータ



(4) Web公開サイト

- ① 高知県埋蔵文化財センターのホームページ
- ② 埋蔵文化財情報管理システム

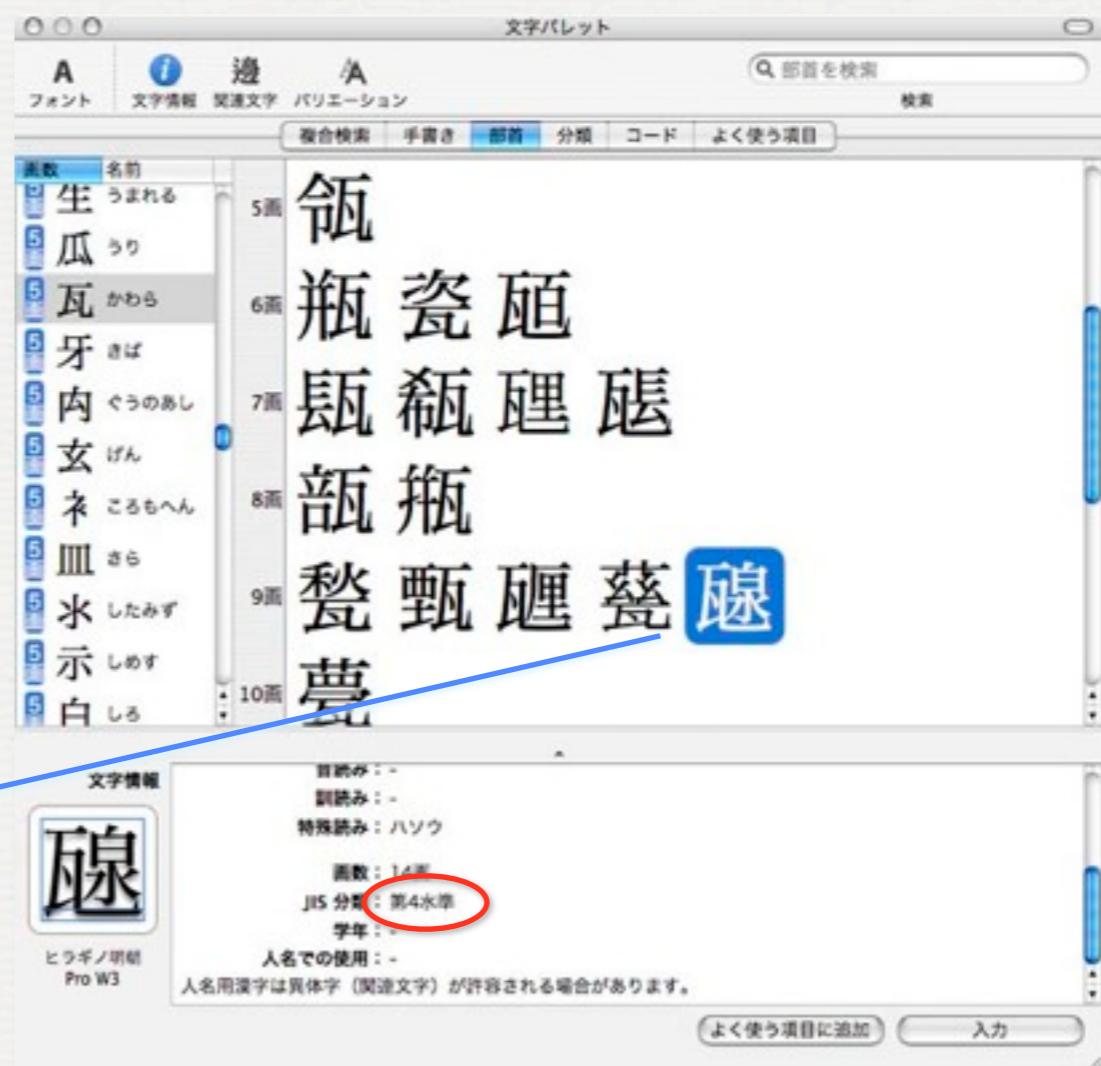
モノ創物のFull DTP化

- ハード・OS・ソフト進歩
- フォント環境の改善
- デジタルカメラの進歩
- インフラの整備

印刷物のFull DTP化

- ハード・OS・ソフト進歩
- フォント環境の改善
- デジタルカメラの進歩
- インフラの整備

穢



高知県埋蔵文化財センターのホームページ



高知県埋蔵文化財センターのホームページ

The screenshot shows the homepage of the Kochi Maibun Cultural Properties Center. The page features a header with the center's name and a navigation bar with various links. A central banner promotes an exhibition titled "道路開発であらわされた遺跡展Ⅲ" (Exhibition of Archaeological Remains Revealed by Road Construction III). Below the banner, there is information about the exhibition dates (October 19 to November 28, 2009) and a PDF download link. To the left, there is a "Topic" section with news items and a "Information..." box. At the bottom, there are footer links and contact information.

高知県埋蔵文化財センター

http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~maibun/

Apple 高知県埋蔵文化財センター Web 埋文センターDB OCN Linkclub 検索サイト Wikipedia 使用状況確認 図書検索・図書館等 ソフトウェアベロッパ ハードウェアベロッパ >

高知県埋蔵文化財センター Web

時高知県埋蔵文化財センター
理藏文化財センター

Today: 2010年1月
Yesterday: 2009年1月
Renewal_2007年1月

トップ 埋文センター 事業内容 施設案内 広報普及 発掘調査 遺跡トピック 情報管理DB QuickTimeHD

今日の新着情報

Topic

- 企画展2－道路開発であらわされた遺跡展Ⅲ（開催中）
- 発掘調査状況を掲載しました。
- 後期出前考古学教室希望校募集中！
- 高知県立埋蔵文化財センターのリーフレットを掲載しました。

※更新日：平成21年10月24日

講座・各種展示のご案内

古代ものづくり体験教室の中
し込み受付中。

平成21年度（2009）年間行事
カレンダーがダウンロードで
きます。なお、追加した行事も
あります。
(一括 : 19.2MB)

PDF Data Download

Information... 12月6日（土）に第4回発掘調査会「上ノ村溝跡」を開催します。

平成21年度後期出前考古学教室希望校募集中
「振りゆうぜよ高知2009 遺跡の館休み企画」終了しました。参加者総数670人（大人：366人、小人：504人）。

道路情報管理 報告書 PDF 現地説明会案内 ビデオライブ配信中
団体見学申込書1(施設) 団体見学申込書2(現場) 物品借用願 物品(既存物)借受申込書

全埋蔵文化財法人のURLはこちら 財団法人高知県文化財団のURLはこちら

※ホームページ閲覧には、Flash Player 8以上、QuickTime7以降が必要です。Webの動作はSafari4.0.3、Camino1.6.1、Mozilla Firefox3.0、Opera9.20、Shira2.2で確認済みです。

(財)高知県埋蔵文化財センター
〒783-0006 高知県高岡市福原東1437-1
TEL:088-864-0671 FAX:088-864-1423
mail address: maibun@kochi-bunkazaidan.or.jp

まいちゃん

まいちゃん



まいくん



まいちゃん

埋蔵文化財情報管理システム



埋蔵文化財情報管理システム

埋蔵文化財情報管理サイト

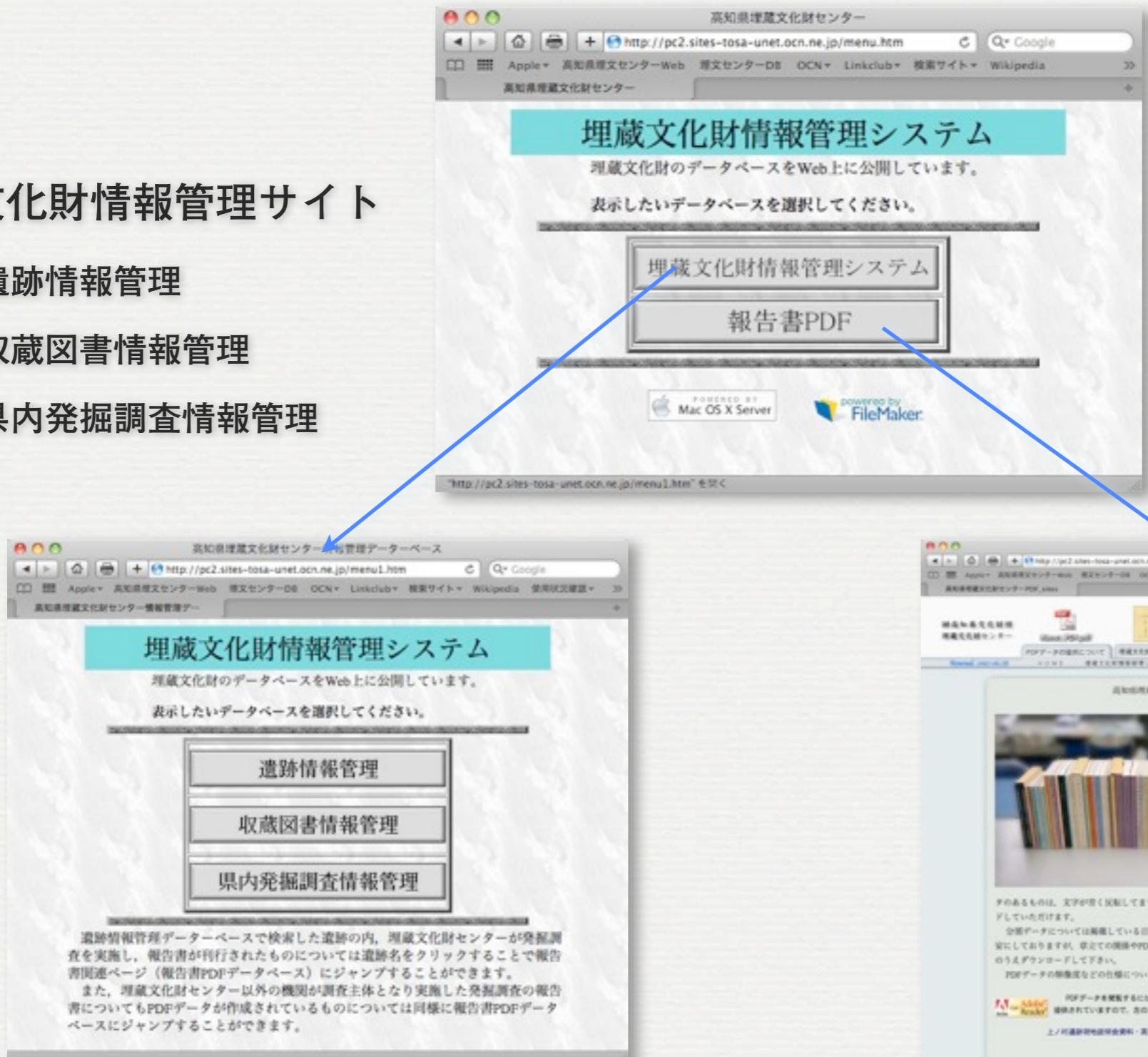
- 遺跡情報管理
- 収蔵図書情報管理
- 県内発掘調査情報管理



埋蔵文化財情報管理システム

埋蔵文化財情報管理サイト

- 遺跡情報管理
 - 収蔵図書情報管理
 - 県内発掘調査情報管理



報告書PDFサイト

- 埋蔵文化財発掘調査報告書
 - 埋蔵文化財センター年報
 - その他の報告書等印刷物
 - PDFデータの作成仕様書

2. コンピュータの導入からDTPへの取り組み

2. コンピュータの導入からDTPへの取り組み

(1) 写植印刷からDTPへ

1993年(平成5年) Macintosh, PSプリンタ・QuarkXPressの導入

2. コンピュータの導入からDTPへの取り組み

(1) 写植印刷からDTPへ

1993年(平成5年) Macintosh, PSプリンタ・QuarkXPressの導入



2. コンピュータの導入からDTPへの取り組み

(1) 写植印刷からDTPへ

1993年(平成5年) Macintosh, PSプリンタ・QuarkXPressの導入

(2) 作業の効率化と高い精度



2. コンピュータの導入からDTPへの取り組み

(1) 写植印刷からDTPへ

1993年(平成5年) Macintosh, PSプリンタ・QuarkXPressの導入

(2) 作業の効率化と高い精度

(3) 問題点として

① フォント環境

プリンタフォントと外字

② インフラの未整備



3. フォント環境の改善とインフラの整備

3. フォント環境の改善とインフラの整備

(1) OCF→CID→New-CIDからOTFへ(MacOSXがOTFを搭載)

プリンタフォントを必要としなくなった。

3. フォント環境の改善とインフラの整備

(1) OCF→CID→New-CIDからOTFへ(MacOSXがOTFを搭載)

プリンタフォントを必要としなくなった。

(2) 外字問題の解消

Adobe-Japan 1-5 準拠(20,317字)

簡単に外字を作成・登録可能

3. フォント環境の改善とインフラの整備

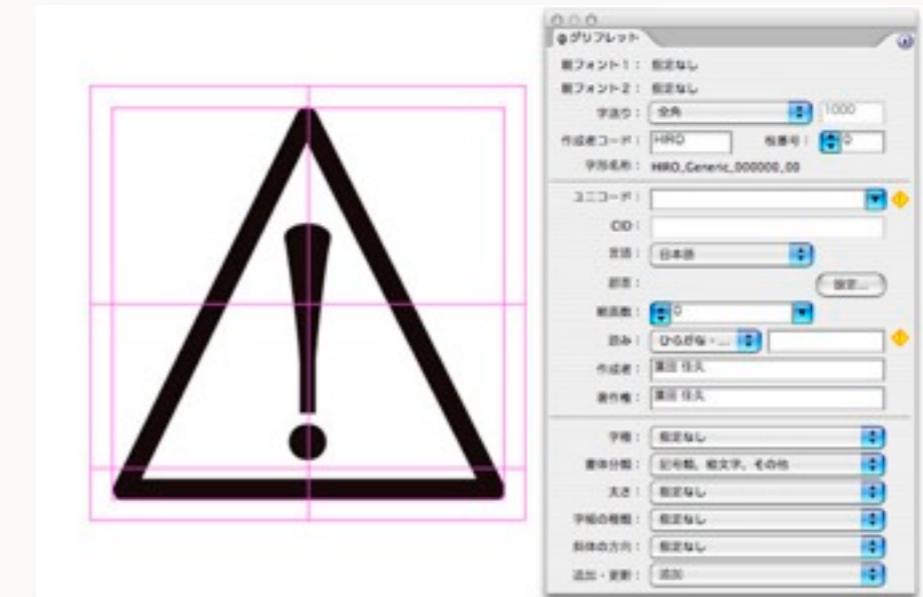
(1) OCF→CID→New-CIDからOTFへ(MacOSXがOTFを搭載)

プリンタフォントを必要としなくなった。

(2) 外字問題の解消

Adobe-Japan 1-5 準拠(20,317字)

簡単に外字を作成・登録可能



Illustratorのグリフレットで作成

3. フォント環境の改善とインフラの整備

(1) OCF→CID→New-CIDからOTFへ(MacOSXがOTFを搭載)

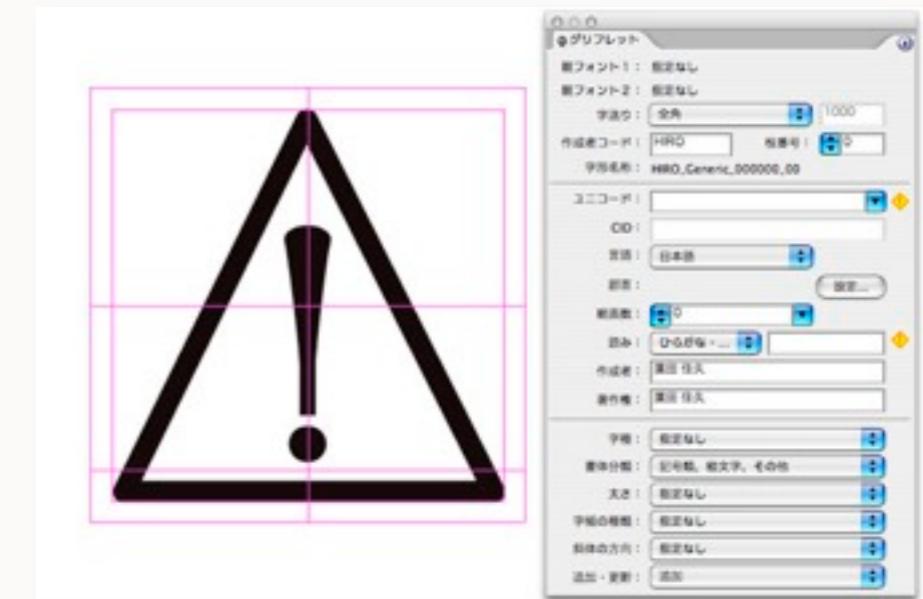
プリンタフォントを必要としなくなった。

(2) 外字問題の解消

Adobe-Japan 1-5 準拠(20,317字)

簡単に外字を作成・登録可能

(3) PDFへの埋め込みが容易に



Illustratorのグリフレットで作成

3. フォント環境の改善とインフラの整備

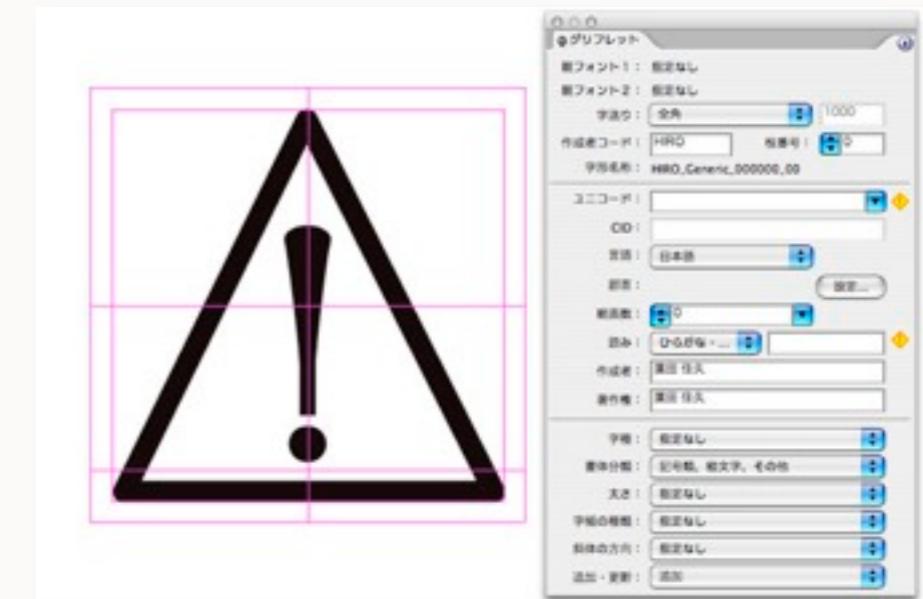
(1) OCF→CID→New-CIDからOTFへ(MacOSXがOTFを搭載)

プリンタフォントを必要としなくなった。

(2) 外字問題の解消

Adobe-Japan 1-5 準拠(20,317字)

簡単に外字を作成・登録可能



(3) PDFへの埋め込みが容易に

Illustratorのグリフレットで作成

(4) インフラの整備と36回以上の研修

整理作業員2名に1台

4. 報告書のPDF化

4. 報告書のPDF化

(1) Full DTPからの書き出し

4. 報告書のPDF化

(1) Full DTPからの書き出し

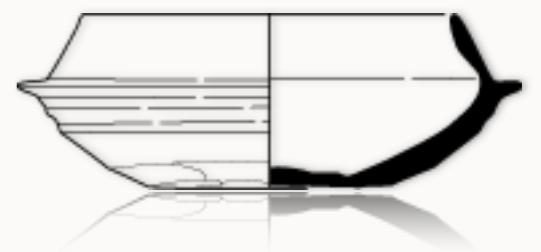
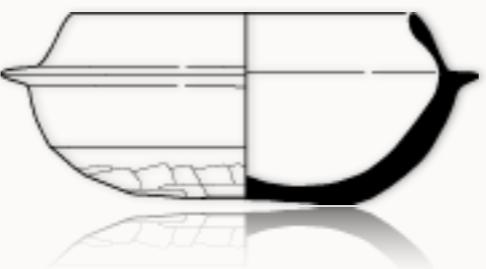
① デジタルトレース



4. 報告書のPDF化

(1) Full DTPからの書き出し

① デジタルトレース



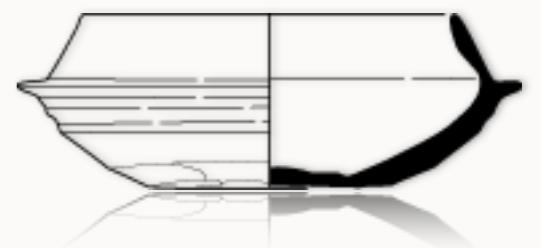
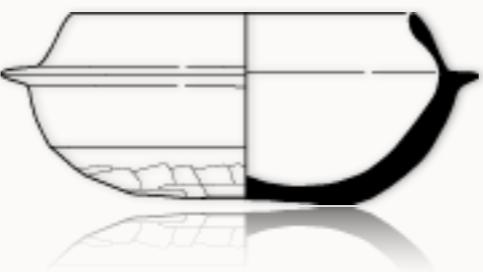
② デジタル写真



4. 報告書のPDF化

(1) Full DTPからの書き出し

① デジタルトレース



② デジタル写真



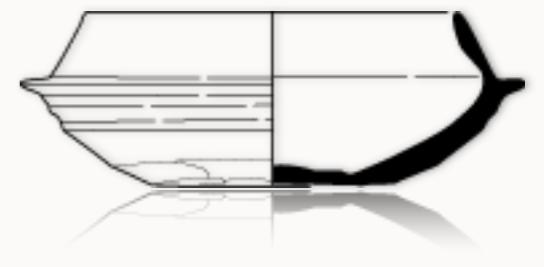
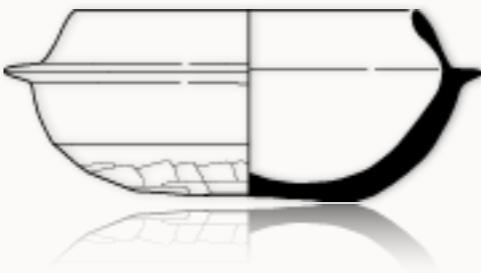
③ InDesignでの編集そして書き出し



4. 報告書のPDF化

(1) Full DTPからの書き出し

① デジタルトレース



② デジタル写真

③ InDesignでの編集そして書き出し

(2) デジタル化以前の報告書のPDF化

① データの種類に応じたスキャニング



② OCRでのテキストの読み込みと校正



③ InDesignでの編集そして書き出し

PDF書き出し時の解像度

PDF書き出し時の解像度

● Full DTPデータの書き出し

データ種類	再版可能なPDF	Web公開用PDF
文字	サブセットで埋め込み	サブセットで埋め込み
線画	圧縮なし	300dpi
白黒写真	圧縮なし	150ppi
カラー写真	圧縮なし	150ppi

PDF書き出し時の解像度

● Full DTPデータの書き出し

データ種類	再版可能なPDF	Web公開用PDF
文字	サブセットで埋め込み	サブセットで埋め込み
線画	圧縮なし	300dpi
白黒写真	圧縮なし	150ppi
カラー写真	圧縮なし	150ppi

● DTP以前のデータの書き出し

データ種類	再版可能なPDF	Web公開用PDF
背景の文字	サブセットで埋め込み	サブセットで埋め込み
文字・線画	600dpi	150dpi
白黒写真	350ppi	150ppi
カラー写真	400ppi	150ppi

5. 埋蔵文化財情報管理システムの構築

5. 埋蔵文化財情報管理システムの構築

(1) 遺跡台帳のデータベース化(遺跡情報管理)

5. 埋蔵文化財情報管理システムの構築

- (1) 遺跡台帳のデータベース化(遺跡情報管理)
- (2) 収蔵図書のデータベース化(収蔵図書情報管理)

5. 埋蔵文化財情報管理システムの構築

- (1) 遺跡台帳のデータベース化(遺跡情報管理)
- (2) 収蔵図書のデータベース化(収蔵図書情報管理)
- (3) 県内の報告書の「報告書抄録」の作成とデータベース化
(県内発掘調査情報管理)

5. 埋蔵文化財情報管理システムの構築

- (1) 遺跡台帳のデータベース化(遺跡情報管理)
- (2) 収蔵図書のデータベース化(収蔵図書情報管理)
- (3) 県内の報告書の「報告書抄録」の作成とデータベース化
(県内発掘調査情報管理)
- (4) 平成10年度郵政省からの寄付金でサーバを導入

5. 埋蔵文化財情報管理システムの構築

- (1) 遺跡台帳のデータベース化(遺跡情報管理)
- (2) 収蔵図書のデータベース化(収蔵図書情報管理)
- (3) 県内の報告書の「報告書抄録」の作成とデータベース化
(県内発掘調査情報管理)
- (4) 平成10年度郵政省からの寄付金でサーバを導入
- (5) 問題点
 - ① インターネット回線の速度
 - ② サーバがUNIX未対応

情報管理システムの記者発表

県内の遺跡の発掘・調査を手がける「県埋蔵文化財センター」（南国市篠原）が、数万点にのぼる膨大な研究資料や写真、地図などを百枚のコンパクトディスクに収め、目的の情報を探しやすく取り組んでいる。来年二月までに整備し、電話回線を通じて個人や学校のパソコンを通じて個人や学校のパソコン

5/13 読売新聞 資料数万点データベース化 県埋文センター 来春一般に情報提供

ソコンでもデータを見られるようにしたいという。同センターは財團法人県文化財団に属し、県内に二千四百か所ある遺跡を調べ写真だけで一万点以上に達し、調査報告書や発掘された埋蔵物の記録など保管資料は増え続ける一方。三年前から暫定的にデータを光ディスクに移す作業を進めていた。

今年度、郵政省からお年玉付き年賀はがき・切手の寄付金から六百八十万円の配分が決まったため、総額八百五十万円をかけて本格的なデータベースを構築することになった。土佐市、中村市にある同センター事務所からの検索のほか、一般向けにもデータの提供を検討している。

データはコンパクトディスクに収め、リストを見て必要な資料を素早く探し多くの情報を入れられるデジタルビデオディスク(DVD)の導入も考えている。同センターの広田佳久・調査第四班長は「掘るばかりでなく調査結果を記録・整理するのもわれわれの大

事な仕事。多くの人が研究成果を活用できるシステムを作りたい」と話している。

情報管理システムの記者発表

県内の遺跡の発掘・調査を手がける「県埋蔵文化財センター」（南国市篠原）が、数万点にのぼる膨大な研究資料や写真、地図などを百枚のコンパクトディスクに収め、目的の情報を探しやすく取り組んでいる。来年二月までに整備し、電話回線を通じて個人や学校のパソコンを通じて個人や学校のパソコン

5/13 読売新聞 資料数万点データベース化

県埋文センターより 来春一般に情報提供

ソコンでもデータを見られるようにしたいという。同センターは財團法人県文化財団に属し、県内に二千四百か所ある遺跡を調べ写真だけで一万点以上に達し、調査報告書や発掘された埋蔵物の記録など保管資料は増え続ける一方。三年前から暫定的にデータを光ディスクに移す作業を進めていた。

今年度、郵政省からお年玉付き年賀はがき・切手の寄付金から六百八十万円の配分が決まったため、総額八百五十万円をかけて本格的なデータベースを構築することになった。土佐市、中村市にある同センター事務所からの検索のほか、一般向けにもデータの提供を検討している。

データはコンパクトディスクに収め、リストを見て必要な資料を素早く探し多くの情報を入れられるデジタルビデオディスク（DVD）の導入も考えている。同センターの広田佳久・調査第四班長は「掘るばかりでなく調査結果を記録・整理するのもわれわれの大

事な仕事。多くの人が研究成果を活用できるシステムを作りたい」と話している。

1998年（平成10年）5月13日読売新聞

6. 公開サーバの導入とPDFデータのWeb公開

- (1) 大規模発掘調査に伴って2004年公開サーバの導入
- (2) サーバのUNIX化
- (3) 報告書PDFの公開
 - ① 埋蔵文化財発掘調査報告書
 - ② 高知県埋蔵文化財センター年報
 - ③ その他の報告書等印刷物
 - ④ PDFデータの作成仕様書
- (4) 埋蔵文化財情報管理システムの移植
遺跡情報管理システムからのアクセス

埋蔵文化財発掘調査報告書

埋蔵文化財発掘調査報告書

http://pc2.sites-tosa-uinet.ocn.ne.jp/pdf_sites/report.htm

埋蔵文化財発掘調査報告書

PDFデータの提供について 埋蔵文化財発掘調査報告書 埋蔵文化財センター年報 その他の報告書等印刷物 PDFデータの作成仕様書

HOME 埋蔵文化財情報管理システム 資料情報管理 伝記・書簡情報管理 国内資源情報管理 国外資源情報管理 書籍買付

2009. November 26, 2009

高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書一覧

番号	著 名	シリーズ番号	発行年月日
1.	長岡中山道跡群－本文編 第1分冊	1	1992.3.31
2.	長岡中山道跡群－図説編 第2分冊	1	1992.3.31
3.	久史跡 我持橋遺跡	2	1992.3.31
4.	福城跡	3	1992.3.31
5.	十萬遺跡	4	1992.3.31
6.	チシ古城跡	5	1992.3.31
7.	岡豊城跡	6	1992.3.31
8.	ひびのきサウジ遺跡	7	1992.3.31
100.	佐川町城ノ台城跡	88	2004.2.29
101.	伊田遺跡	89	2004.3.19
102.	不破遺跡	90	2004.3.26
103.	居野遺跡	91	2004.3.31
104.	林田遺跡	92	2005.2.28
105.	野田遺跡・野田廃寺	93	2005.3.18
106.	桜木遺跡	94	2005.3.31
107.	坪ノ内遺跡	95	2006.3.31
108.	史跡 高知城跡	96	2006.3.22
109.	村山遺跡と鶴田一平城&・7年度の資源調査報告書二	97	2007.2.23
110.	加茂ハイタノクボ遺跡	98	2007.3.16
111.	Lトロ遺跡	99	2007.12.19
112.	介良野遺跡	100	2007.12.19
113.	北ノ丸遺跡	101	2008.3.10
114.	西野々遺跡1	102	2008.3.14
115.	坂本遺跡	103	2008.3.20
116.	口根ヶ谷遺跡	104	2008.3.19
117.	坪ノ内遺跡	105	2008.3.16
118.	西山城跡	106	2008.3.25

119.	佐川町城跡	107	2008.3.31
120.	村山遺跡	108	2008.3.19

高知県埋蔵文化財センター年報

埋蔵文化財センター年報

http://pc2.sites-tosa-unet.ocn.ne.jp/pdf_sites/annual.htm

埋蔵文化財センター年報

PDFデータの提供について 球根文化財発掘調査報告書 埋蔵文化財センター年報 その他の報告書等印刷物 PDFデータの作成仕様書

HOME 球根文化財情報管理システム 通販情報管理 収蔵図書情報管理 市内発掘調査情報管理 情報管理DB Since December 26, 2004

高知県埋蔵文化財センター年報一覧

書名	シリーズ番号	発行年月日
高知県埋蔵文化財センター年報 1 - 平成3年度 (1992) - B5版	1	1992.9.30
高知県埋蔵文化財センター年報 2 - 平成4年度 (1993) - B5版	2	1993.3.30
高知県埋蔵文化財センター年報 3 - 平成5年度 (1994) - A4版	3	1994.11.30
高知県埋蔵文化財センター年報 4 - 平成6年度 (1995) - A4版	4	1995.7.30
高知県埋蔵文化財センター年報 5 - 平成7年度 (1996) - A4版	5	1996.12.30
高知県埋蔵文化財センター年報 6 - 平成8年度 (1997) - A4版	6	1997.9.30
高知県埋蔵文化財センター年報 7 - 平成9年度 (1998) - A4版	7	1998.7.30
高知県埋蔵文化財センター年報 8 - 平成10年度 (1999) - A4版	8	1999.9.30
高知県埋蔵文化財センター年報 9 - 平成11年度 (2000) - A4版	9	2000.12.30
高知県埋蔵文化財センター年報 10 - 平成12年度 (2001) - A4版	10	2001.6.30
高知県埋蔵文化財センター年報 11 - 平成13年度 (2002) - A4版	11	2002.5.30
高知県埋蔵文化財センター年報 12 - 平成14年度 (2003) - A4版	12	2003.6.30
高知県埋蔵文化財センター年報 13 - 平成15年度 (2003) - A4版	13	2004.9.27
高知県埋蔵文化財センター年報 14 - 平成16年度 (2004) - A4版	14	2006.3.31
高知県埋蔵文化財センター年報 15 - 平成17年度 (2005) - A4版	15	2006.8.21
高知県埋蔵文化財センター年報 16 - 平成18年度 (2006) - A4版	16	2007.9.28
高知県埋蔵文化財センター年報 17 - 平成19年度 (2007) - A4版	17	2008.10.22
高知県埋蔵文化財センター年報 18 - 平成20年度 (2008) - A4版	18	2009.7.31

"http://pc2.sites-tosa-unet.ocn.ne.jp/pdf_sites/publication/contents/annual011.htm" を開く
http://pc2.sites-tosa-unet.ocn.ne.jp/pdf_sites/publication/contents/annual011.htm を開く

その他の報告書等印刷物

The screenshot shows a web page titled "その他の報告書等印刷物" (Other Reports and Publications) from the URL http://pc2.sites-tosa.unet.ocn.ne.jp/pdf_sites/etc.htm. The page contains three main sections:

- その他の刊行物 (紀要・現地説明会資料・遺跡関連報告書) 一覧**: A table listing various publications, mostly reports from excavations. The first few entries are:

書名	発行年月日
原南道跡発掘調査報告書	1991.3.30
東崎遺跡I	1991.3.30
大谷古墳	1991.3.30
研究紀要	1994.3.30
四国横断自動車道（南国～伊野）建設に伴う 平成7年度 奥谷南道跡発掘調査概報	1996.3.30
埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業に関する基本マニュアル 97	1997.12.30
- 記者発表および現地説明会資料**: A table listing press releases and site explanation materials from various years, primarily from 2005.

記者発表および現地説明会資料	発表・開催日
平成16年度 埋蔵文化財情報管理システムのWebにかかる情報管理DB・報告書PDFについて 記者発表資料	2005.1.17
平成16年度 高知南国道路外1件埋蔵文化財発掘調査 西野々遺跡 記者発表および現地説明会資料	2005.1.20・22
平成16年度 高知城石垣整備事業に伴う発掘・確認調査 高知城三ノ丸 記者発表および現地説明会資料	2005.2.24・27
平成16年度 四国横断自動車道（中土佐宿川間）建設に伴う発掘調査 西山城跡 記者発表および現地説明会資料	2005.3.4・6
平成17年度 中村宿毛道路外1件発掘調査 坂本遺跡 第1回現地説明会資料	2005.8.21
平成17年度 高知南国道路外1件埋蔵文化財発掘調査西野々遺跡 記者発表および現地説明会資料	2005.11.23
- 遺跡と関連報告書**: A list of reports related to specific sites:
 - 土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書関連
 - 上佐原地区界隈調査報告書
 - 具河中山遺跡群
 - 十万遺跡

その他の発掘調査報告書等の印刷物

記者発表および現地説明会資料

複数の報告書が刊行されている遺跡の概要

遺跡と関連報告書

土佐国衙跡

高知県教育委員会が調査主体となり昭和34年度から平成3年度（昭和64年度は高知市教育委員会が調査主体）まで昭和補助事業として土佐国衙跡の定期調査を実施しました。これまでの面積は約7,750平方メートルです。昭和62年度から開始した古墳改良工事と排水路改良工事に伴う緊急発掘調査の分を合わせると約8,000平方メートルで、土佐国衙跡が方四町であったと仮定した場合、その約4%を調査したことになります。ただし、その中央部である「金屋セキ」（市ノノ地区の東半分）と神木地区の東西約80メートル、南北約120メートルの範囲はビニールハウスが建ち、全く手付かずの状態で、調査ではこの部分に近くと官衙開拓の遺構が目立ち、離れるとその数は増減する傾向にあります。

これらの調査によって確認された遺構・遺物は以下に示す通りです。出土品は昭和34年～昭和64年までの間に立社跡73基、土塁（上丸高も含む）124基、道路64条、車路64条、自然不明遺構け基、ピットなどでした。国衙存続期のみならず、古くは弥生時代後期後半、古墳時代後期、そして鎌倉期のものもあり、国衙成立以前と国衙廢絶後の遺構・遺物も検出されています。国衙成立以前で注目されるのは、6世紀後半から7世紀にかけての集落です。低下地を中心とし、自然防護上でも標高の高い部分に所在しています。この期の集落の存在は、国衙成立の裏地となったものと考えることができます。中世下段近北東部に位置する白旗原の建立とみられる比江魔寺の存在も注目されます。なお、弥生時代の遺構も古墳時代の集落とは同じ面に所在し、国衙開拓の遺構は立地的に最も離れておらずとみられる「タイリ」の地名のある中位下段丘陵ではほとんど確認されておらず、一般の建物跡が目立ち、自然防護の中央部や北東部の部分でまとまって検出されています。一方、鎌倉期の遺構は自然防護の西側から南西部を中心に確認されており、それぞれの変遷を見ることができます。また、この時期には集落の拡大がみられます。なお、礎石建物跡は全く確認されておらず、瓦の出土も数点でそれも比江魔寺のものとみられます。

詳細は下記の開拓報告書をご覧下さい。

発行報告書

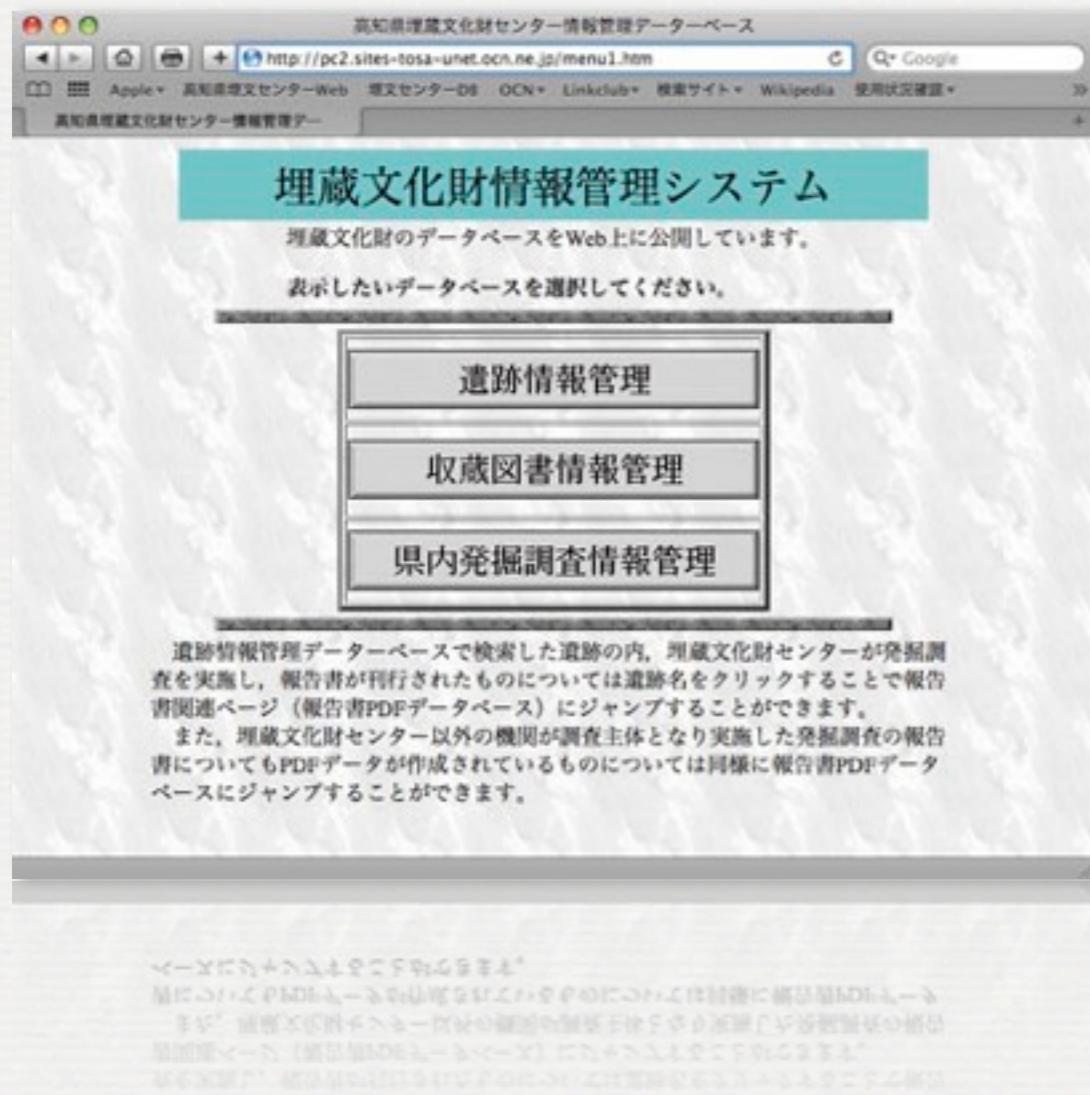
『土佐国衙跡発掘調査報告書第1集』一冊／木村・ケグ・国府地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第2集』一冊／内藤地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第3集』一冊／中村地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第4集』一冊／太郎ヤシオ地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第5集』一冊／内・ケグ地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第6集』一冊／内・國府地の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第7集』一冊／下・高屋地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第8集』一冊／下・金屋地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第9集』一冊／下・神木地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第10集』一冊／金屋地区の調査－

発行機関：高知県教育委員会
発行年月日：1980.3
1981.3
1982.3
1983.3
1984.3
1985.3
1986.3
1987.3
1988.3
1989.3
1990.3

参考文献

『土佐国衙跡発掘調査報告書第1集』一冊／木村・ケグ・国府地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第2集』一冊／内藤地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第3集』一冊／中村地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第4集』一冊／太郎ヤシオ地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第5集』一冊／内・ケグ地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第6集』一冊／内・國府地の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第7集』一冊／下・高屋地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第8集』一冊／下・金屋地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第9集』一冊／下・神木地区の調査－
『土佐国衙跡発掘調査報告書第10集』一冊／金屋地区の調査－

遺跡情報管理システムからのアクセス!



遺跡情報管理システムからのアクセス!

高知県埋蔵文化財センター情報管理データベース

埋蔵文化財のデータベースをWeb上に公開しています。

表示したいデータベースを選択してください。

跡情報管理

収蔵図書情報管理

県内発掘調査情報管理

跡情報管理データベースで検索した跡の内、埋蔵文化財センターが発掘調査を実施し、報告書が刊行されたものについては跡名をクリックすることで報告書関連ページ（報告書PDFデータベース）にジャンプすることができます。

また、埋蔵文化財センター以外の機関が調査主体となり実施した発掘調査の報告書についてもPDFデータが作成されているものについては同様に報告書PDFデータベースにジャンプすることができます。

跡情報管理

検索

市町村名: 種別: 未調査 調査 分布調査 備考:
ふりがな: 遺跡番号:
名称: 時代:
所在地: 指定年月日:
土地所有者: 現状: 地図: 1 2 3
立地:
範囲:
形態:
時代:
遺構:
特徴:
その他:
出土品の概要:
所蔵・保管場所:
発掘調査年月日:
文献:
分布調査年月日:
分布調査員:
備考:

検索 全レコード表示 やり直す
ソート順: 一覧表示
表示: 10 下数

上部 順序: 一覧に替わるマクロ
標準小: フルマークと括弧が入り切れない位置まで
(VFD)
フルマークと括弧が入り切れない位置まで 入力

遺跡情報管理システムへのアクセス



遺跡情報管理システムからのアクセス

遺跡情報管理JPS - 検索結果

■検索結果■
1から1までの該当する1レコードを表示します。

名称	所在地	時代	種別
土佐国御跡	高岡市比江字御跡・松ノ下・金屋松	弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代	官衙跡

新規検索

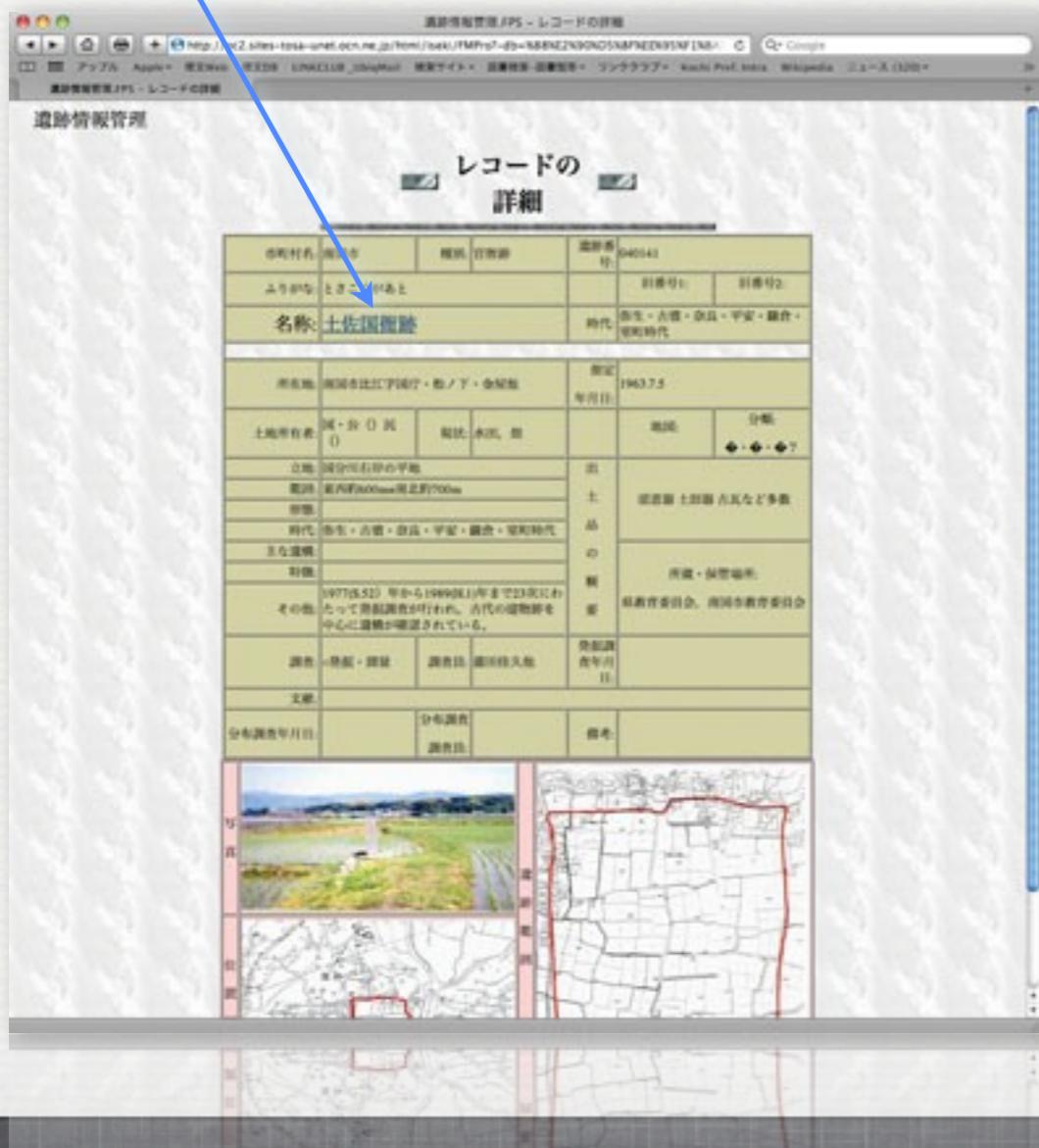


遺跡情報管理JPS - レコードの詳細

■レコードの詳細■

地所村名	高岡	種別	官衙跡	遺跡番号	640543
ふりがな	ときのうえ			別番号1	
名称	土佐国御跡	時代	弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代	別番号2	

所在地: 高岡市比江字御跡・松ノ下・金屋松
土地所有者: 岩・松・瓦
立地: 脱分地石垣の平地
範囲: 東西約600m南北約700m
形態:
時代: 弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代
主な遺構:
特徴:
その他: 1977(昭52)年から1999(平11)年まで23次にわ
たって発掘調査が行われ、古代の建物跡を中心
に遺構が確認されている。
調査: 一般調査・測量
調査日: 遺跡復元調査
文獻:
分布調査年月日: 分布調査
調査日:



The screenshot shows the detailed record for the '土佐国御跡'. It includes a table with basic information like name, location, period, and type. Below the table is a large area for detailed notes, mentioning archaeological excavations from 1977 to 1999. At the bottom, there's a map with a red outline indicating the site's location.

遺跡情報管理システムからのアクセス

左側の画面は「遺跡情報管理システム」の検索結果画面です。赤枠で囲まれた「土佐国御跡」をクリックすると、右側の画面に遷移します。

右側の画面は「土佐国御跡」の詳細情報画面です。赤枠で囲まれた「名前: 土佐国御跡」をクリックすると、さらに右側の画面に遷移します。

最終的に表示される画面は、「土佐国御跡」の詳細情報画面です。この画面には、遺跡の名前、所在地、時代、特徴、立地、範囲、所有者、管理者、調査責任者、文獻、分布調査年月日などの情報が記載されています。また、地図表示と現地写真も表示されています。

右側の画面には、多くの参考文献や関連資料の一覧が表示されています。

7. 高知県埋蔵文化財センターのPDFデータ

利用者の便を考慮したPDFデータを掲載

- (1) データサイズは約10MB以下に
- (2) 章を基準に分割し、必要な箇所のみダウンロード可能に
- (3) 「しおり」も細かく設定
章・節・項・図版の写真など
- (4) テキスト背景に埋め込み、忠実に検索可能
(DTP以前のデータPDFデータについて)

発掘調査報告書のダウンロードページ

The image shows two screenshots of a web application for managing excavation survey reports.

Left Screenshot: A list of excavation survey reports. The table has columns for '番号' (Number), '書名' (Title), 'シリーズ番号' (Series Number), and '発行年月日' (Issuance Date). One row, '比江廃寺跡 - 平成6・7年度の確認調査報告書' (Report No. 109), is highlighted with a red border. A blue arrow points from this row to the detailed view on the right.

番号	書名	シリーズ番号	発行年月日
1	真岡市山田遺跡 - 木文解説1分冊	1	1992.3.31
2	真岡市山田遺跡 - 国財解説2分冊	1	1992.3.31
3	豊受跡 - 県内地質探査	2	1992.3.31
4	豊城跡	3	1992.3.31
5	十王遺跡II	4	1992.3.31
6	チシ古墳跡	5	1992.3.31
7	阿佐城跡II	6	1992.3.31
108	支那・高知城跡	96	2006.3.22
109	比江廃寺跡 - 平成6・7年度の確認調査報告書	97	2007.2.29
110	加茂ハイタノクダ遺跡II	98	2007.3.16
111	上トド遺跡	99	2007.12.19
112	介良野遺跡	100	2007.12.19
113	北ノ丸遺跡	101	2008.3.10
114	西野キ遺跡I	102	2008.3.14
115	佐木遺跡	103	2008.3.20
116	口根ヶ原遺跡	104	2008.3.29
117	岸ノ内遺跡	105	2008.3.16
118	西山城跡	106	2008.3.25

Right Screenshot: A detailed view of the '比江廃寺跡III' report (Report No. 109). The page includes the title, issuance date (2007.2.29), and a large PDF download button ('PDF一括ダウンロード'). Below the main content area, there are sections for '本文目次' (Table of Contents) and '付図目次' (Index of Figures).

ダウンロードした発掘調査報告書

report_097.pdf

PDF の作成 ファイルを結合 書き出し フォーム 検索

1 / 90 66.7%

検索

オブジェクトデータツール 選択されていません

しおり オプション

北江廃寺跡平成6・7年度の確認調査報告書

- 表紙
- 内表紙
- 序
- 例言
- 目次
- 第I章 調査に至る経緯と経過
- 第II章 調査の地理的・歴史的環境
- 第III章 調査の概要
- 第IV章 遺構と遺物
 - 1. 塔跡東部
 - (1) 1区-2~4 (付図1)
 - (2) 1区-5 (付図2)
 - 2. 塔跡 (付図2)
 - 3. 塔跡西式
 - (1) 8区 (付図3)
 - (2) 9区 (付図4)
 - (3) 10区 (付図4)
- 第V章 考察
 - 1. 伽藍配置
 - 2. 寺域
 - 3. 塔心礎と塔跡
 - 4. 遺物 -土師質土器と瓦について-
 - 5. 性格と存続時期
 - 6. その他の遺構と遺物
 - 7. おわりに
- 図版
- 報告書抄録
- 付図
 - 付図1
 - 付図2
 - 付図3
 - 付図4
- 奥付

高知県文化財センター発掘調査報告書集

比江廃寺跡 III

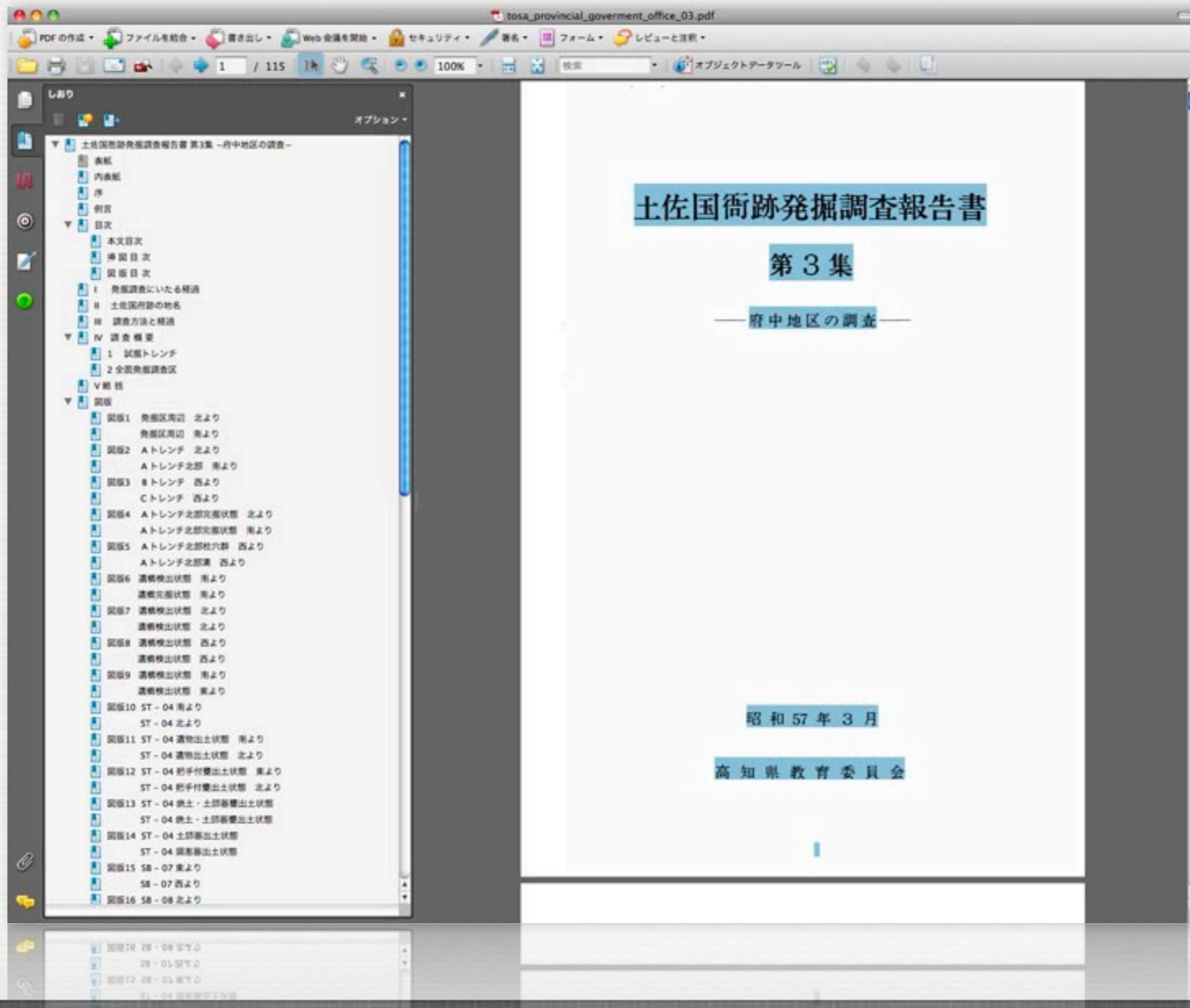
平成6・7年度の確認調査報告書

Foundation stone for the central pillar of pagoda at the *Aji* abandoned temple

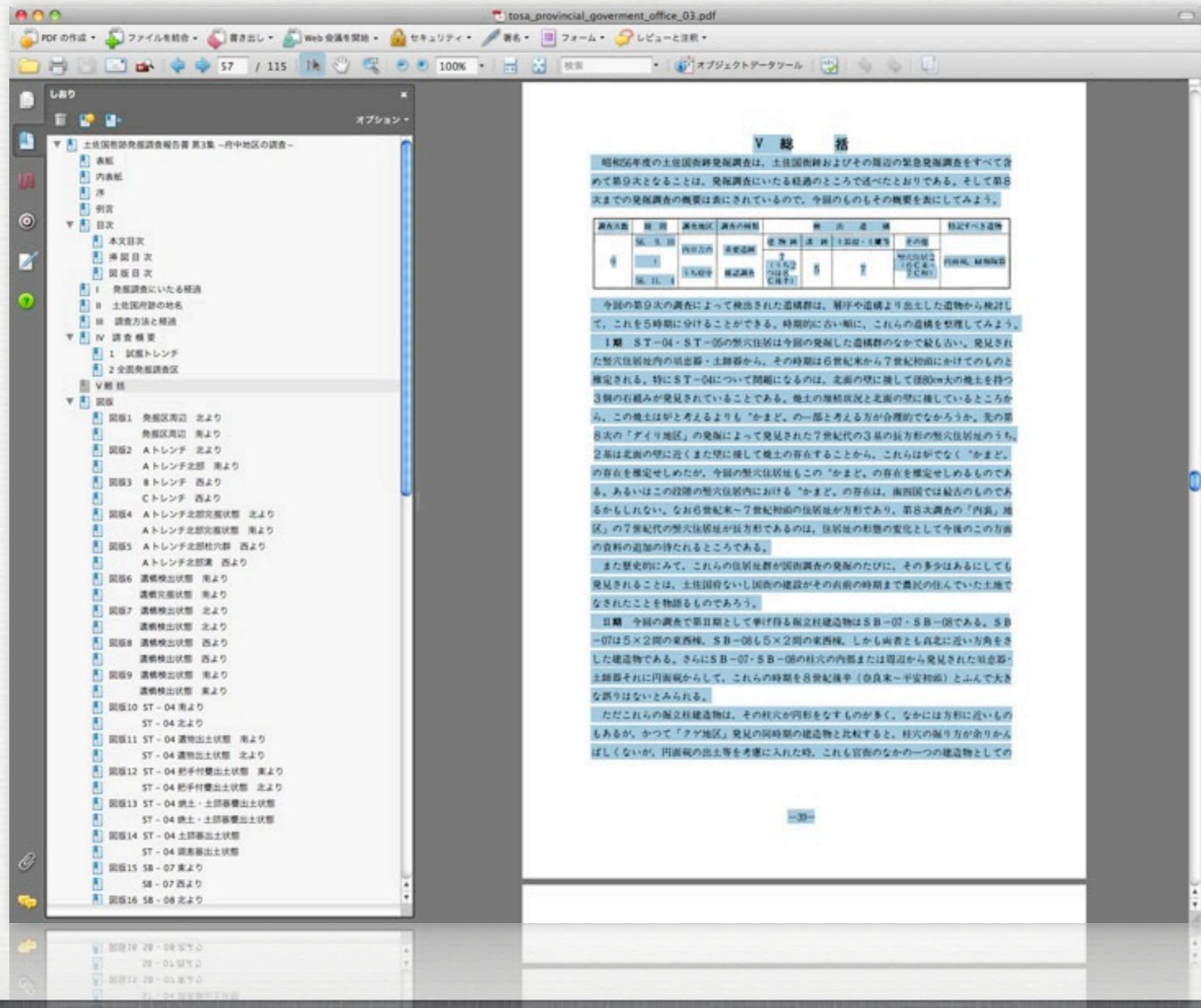
2007.2

高 知 県 教 育 委 員 会
財高知県文化財団埋蔵文化財センター

DTP以前のPDFデータの文字の埋め込み



DTP以前のPDFデータの文字の埋め込み



報告書PDFWeb公開の記者発表

A screenshot of a Windows-based application window titled '埋蔵文化財センターの発掘調査報告書' (Report on Excavation Survey of Buried Cultural Properties). The window has a standard Windows title bar with icons for minimize, maximize, and close. Below the title bar is a menu bar with Japanese text. A toolbar with several icons is located above the main content area. On the left side of the window is a vertical sidebar containing a tree view of document contents, with the '目次' (Table of Contents) node expanded. The main content area is divided into two columns. The left column contains a 4x2 grid of small thumbnail images of various artifacts, such as bowls and fragments. The right column contains two larger images of artifact groups: one showing several long, thin, pointed objects (possibly needles or tools) arranged vertically, and another showing a row of similar objects. At the bottom of the window, there is a status bar with some Japanese text and icons.

A screenshot of a computer screen displaying a digital catalog of archaeological artifacts. The interface includes a top menu bar with Japanese text and various icons. On the left, there is a vertical toolbar with numerous small icons and a large, detailed icon of a vessel. The main window is divided into two columns. The left column contains nine thumbnail images of various artifacts, including bowls, vessels, and a small figure. The right column contains two larger images showing rows of similar artifacts, possibly spearheads or needles, arranged in a grid pattern.

HPで県内出土品公開

県埋蔵文化財センター

七
三

同十数ヶ所には跡見跡、内
の遺跡の全景写真や、
書目録などをデータベース
化し、発掘調査報告書
の抄録と一緒にHPで紹
介してきた。

の「よく簡単な紹介にとどまり、解説などはない。遺跡の写真についても個々の出土品を撮影したものはほぼ皆無だった。

また、各々、三百一十五部が印刷される発掘調査報告書の実物は配布先が県内外の専門機関などに限られ、一般の人が調査報告書を見ようと思えば、同センターや図書館に直接、足を運ぶしかな

報告書を順次電子化

こうした」とから、同センターは発行文献のPDF・簡易電子データ記録形式化を検討。報告書の印刷業者に対し、二年度からPDF形式での加工を依頼し、同年度以前の報告書など発行文献についても本年度から電子化作業を始めた。

同センターは「文化財の情報や資料を自由にダウンロードしてもらうことで、より多くの県民に考古学への興味を持つてもらいたい。順調に行けば、十七年度中にセンターの発行した過去の文献もすべて電子化できる」としている。

回七ハク一の庄

報告書PDFWeb公開の記者発表

高知新聞 2005年(平成17年)1月18日(火曜日) 地域1 音楽(22)

HPで県内出土品公開

県内で出土した遺跡資料が自宅のパソコンなどでも気軽に閲覧できるシステムを、県埋蔵文化財センター(南国市霧原)がこのほど導入した。出土品のカラー写真を含む過去の発掘調査報告書などをホームページで見る」ことができ、考古学への身近な案内役となりそう。

同センターは従来、県内の遺跡の全景写真や戻書目録などをデータベース化し、発掘調査報告書の抄録と一緒にHPで紹介してきた。

しかし、抄録は出土品のよく簡単な紹介にとどまり、解説などはない。遺跡の写真についても個々の出土品を撮影したもののはほぼ皆無だった。

また、各員三百一十五部が印刷される発掘調査報告書の実物は配布先に限られ、一般の人人が調査報告書を見ようと思えば、同センターや図書館に直接、足を運ぶしかな

報告書を順次電子化

同センターは「文化財の情報や資料を自由にダウンロードしてもらい」と、より多くの県民に考古学への興味を持つよう、十七年度中にセンターの発行した過去の文献もすべて電子化できることとしている。

同センターのHPは <http://www.kochi-hukazaidan.or.jp/~mai>

パソコンで気軽に閲覧、取得が可能になった県埋蔵文化財センターの発掘調査報告書の一部

二年度からPDF形式での加工を依頼し、同年度までの報告書など発行文書の印刷業者に対し、二年一度電子化作業を始めた。電子化された文書は同センターのホームページから検索可能で、十日現在、全九十一集の発掘調査報告書のうち五十八集(約一万件)、遺跡数で四十八カ所)が閲覧可能。各文献の表紙の下に目次が付いており、数十数百件に及ぶ報告書の中から希望の項目だけ簡単に印刷し、データとして保存することができる。

同センターは「文化財の情報や資料を自由にダウンロードしてもらい」と、より多くの県民に考古学への興味を持つよう、十七年度中にセンターの発行した過去の文献もすべて電子化できることとしている。

同センターのHPは <http://www.kochi-hukazaidan.or.jp/~mai>

2005年(平成17年)1月18日高知新聞

8. 今後の課題

8. 今後の課題

(1) サーバ更新にかかる経費問題

8. 今後の課題

- (1) サーバ更新にかかる経費問題
- (2) Web2.0にも対応したシームレスなシステムの再構築

8. 今後の課題

- (1) サーバ更新にかかる経費問題
- (2) Web2.0にも対応したシームレスなシステムの再構築
- (3) 後継者の育成

8. 今後の課題

- (1) サーバ更新にかかる経費問題
- (2) Web2.0にも対応したシームレスなシステムの再構築
- (3) 後継者の育成
- (4) 今後の埋蔵文化財行政